

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	福島県飯舘村 スマイルアゲイン サポート事業
事業主体 (連絡先)	大町温泉郷スマイル倶楽部
事業区分	(6)-オ 産業振興に関する事業 個性を生かした産業振興
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4,157,590 円 (うち支援金 : 1,145,000 円)

事業内容

○福島原発事故で仮設住宅での避難生活を余儀なくされている飯舘村のご老人を大町温泉郷に招待し大町の大自然に触れて頂き元気を取り戻してもらい温泉郷のおもてなしを感じてもらおう。

春 4月24日25日 秋 9月16日17日

各回 募集人数 80名とする。

○このサポート事業をつうじて大町温泉郷を発信し広く告知する。



【飯舘村の皆さんと記念撮影】

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

○1回目は3か所の仮設住宅から80名、2回目は前回に加えて富岡町の仮設住宅から参加を頂き70名をお迎え出来た。

○大町市民の皆さんとも交流をして頂き、まだまだ進んでいない復興を感じて頂けた。

○この事業は準備の段階から度々新聞に取り上げて頂き、大町温泉郷を告知する一助となった。

○参加いただいた皆様からは多くのお礼状を頂き、「永い仮設暮らしで話題も少なくなっていました。今は信州大町の事で盛り上がっています。次回は是非こちらから大町に伺いたいと思います。」こんな文章があり、大町温泉郷の宿泊施設が連携すると共に、市民ボランティアや企業等多くの皆さんの協力による大町のホスピタリティの成果を感じることができた。

【目標・ねらい】

- 被災者に息抜きを
- 大町と温泉郷の告知
- 大町温泉郷のおもてなし

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

今回の事業は大町温泉郷のお宿の皆さんと元気づくり支援金があったので出来たと思う。どうしても必要な資金作りという課題を痛感している。

今年150名の方々に大町のおもてなしを感じて頂いた。今後は招待される方々の感動とともに、招待する側の感動を多くの人にも感じて頂だけるよう、より多くの協力いただける方を募り、一丸となって大町のホスピタリティを全国へ発信するような計画を立てたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある